

医療と教育の学生が「がん」を共に学ぶ学生交流会を開催します

～横浜市立大学と関東学院大学の学生が大学や専門分野の枠を越えて交流～

医療を学ぶ横浜市立大学医学部の学生と、教育を学ぶ関東学院大学教育学部の学生が、大学の枠を越えて交流し、「がん」をテーマに学び合う学生交流会を開催します。

横浜市では、横浜市立大学と若年層の医療・健康に関する理解促進を目的とした連携協定を締結しており、本交流会は、大学生が交流する取組の第一弾として、関東学院大学教育学部と実施するものです。将来、医療人材と教育人材として社会を担う学生たちが、がんに関する知識やその伝え方について対話を重ねます。

医療を学ぶ学生は専門知識を分かりやすく伝える力を磨き、教育を学ぶ学生はがんへの理解を深めます。分野を越えた学び合いを通じて、若い世代のがんへの理解促進と新たなつながりの創出を目指します。

1 実施概要

日時：令和8年10月3日（土）13時15分から14時45分まで

場所：関東学院大学 金沢八景キャンパス（横浜市金沢区六浦東1-50-1）

参加者：（1）横浜市立大学の学生団体 YDC（※1）

・医学部医学科5年生 2名、医学部看護学科2年生 2名

（2）関東学院大学教育学部津村ゼミナール（※2）

・津村 麻紀 専任講師

・教育学部3年生 5名

※1 YDC (Yokohama Dream Catchers)

医学部医学科・看護学科の学生が主体となり、市民に向けた正しい医療知識の提供を目的として発足した学生団体で、現在約50名が在籍している。若者を中心とした医療知識の普及活動を精力的に展開し、特に「身近な医療情報をわかりやすく伝える取り組み」が高く評価され、令和7年に「上手な医療のかかり方アワード」で厚生労働大臣賞（最優秀賞）を受賞している。

※2 関東学院大学教育学部津村ゼミナール

担当教員は、津村麻紀 専任講師（博士、関東学院大学教育学部こども発達学科所属）。専門は臨床心理学。これまで医療機関や緩和ケアチームでの心理支援に従事するとともに、がん医療における心理社会的支援に関する研究・教育活動に取り組んでいる。

ゼミでは、臨床心理学の視点から教育・保育における子どもへの関わりについて学んでおり、特に病弱児の心理的支援を主なテーマに、サイコオンコロジー（がん医療における心理社会的支援）を扱っている。

裏面あり



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷



2 実施内容

(1) 第1部 YDCの学生による基礎知識の紹介

医療を学ぶ学生が、自らの学びを生かしながら、がんの現状や予防、検診の重要性などについて分かりやすく紹介します。正しい知識を身に付けるとともに、がん患者への理解を深める機会とします。

- ・がんの現状（罹患状況・死亡状況）
- ・がんの予防と生活習慣
- ・がん検診の重要性
- ・がん患者の気持ちや生活への理解 など

(2) 第2部 意見交換

「若い世代にがんへの関心を持ってもらうためにはどうすればよいか」などをテーマに、学生同士で意見交換を行います。また、第1部で学んだ内容を踏まえ、がんに対するイメージや疑問、学びや気づきを共有しながら、がんを身近な問題として考えます。

- ・若い世代のがん関心向上の手法
- ・教師として児童・生徒へがんについてどのように伝えるか
- ・学びや気づきの共有 など

3 取材

当日取材を希望される場合は、10月1日（木）15時までにお問合せ先にご連絡ください。

(参考) 連携協定

協定名称：若年層への教育的取組等を通じた医療・健康に関する市民理解促進のための連携協定

締結日：令和8年4月1日

概要：若年層への教育的取組を通じて医療・健康に関する市民理解の促進を図るため、横浜市と横浜市立大学が連携して啓発活動や学習支援等を実施する協定

お問合せ先		
がん・疾病対策課医務担当課長	紺野	Tel 045-671-4815



GREEN×EXPO 2027
YOKOHAMA JAPAN

2027年国際園芸博覧会 2027年3月～9月 横浜・上瀬谷

